

# Color Gallery

シリーズ

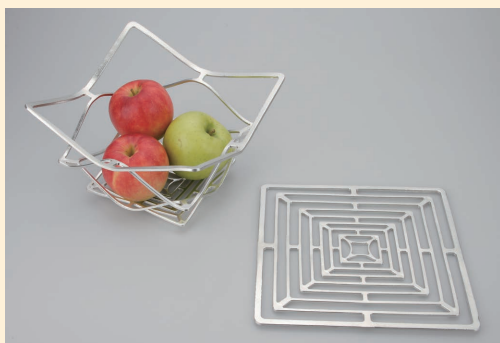
匠の化学

## 高岡銅器の歴史と化学 長柄毅一

富山県高岡市は銅器産地として400年余りの歴史を有し、茶器、花器、香炉、仏具から梵鐘、大型ブロンズ像等をはじめ、多くの製品が生産されており、出荷額、販売額は全国一を誇る。この高岡銅器の歴史を概観したのち、銅合金の枠にとらわれず展開されている錫鑄物の商品展開、さらに、その特徴を金属材料学の観点から簡単に解説する。P518-519

### 高岡大仏

高岡銅器の象徴ともいえる高岡大仏は1933年に完成したもので、像の高さは7.43m、総重量は約13tである。市民はこれを奈良、鎌倉に並ぶ日本三大仏と称して大切にしている。



### 錫製のフルーツバスケット

長年培われた鑄造技術をベースに最近ではアルミ鑄物によるエクステリア製品やコバルト合金鑄物による医療用インプラント素材、また錫の鑄物などの商品が模索されている。写真は錫を用いた製品例の1つで、変形前は平板(右下)だったものを、容易に籠形状に変形できる。

写真提供：(株)能作